

開講科目名 / Course	学校保健学	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second, Third	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	草野 淳子	
担当教員名 / Instructor	草野 淳子、小野 治子、手嶋 康深、大渡 文子	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	15	
科目の目的と概要	児童・生徒の心身の健康維持・増進における学校保健の役割について、保健管理、保健学習、保健指導等を取り上げ、学校保健の内容を理解し、講義内容の要点を説明することができる。	
到達目標	1. 根拠となる法律、学習指導要領と教育課程について述べることができる。 2. 学校保健の意義や内容について述べるができる。 3. 年間行事を見通した保健室経営案や学校保健計画が立案できる。 4. 保健管理・健康教育・組織活動について述べるができる。 5. 個人や集団を対象とした保健指導の立案・実施ができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 全体オリエンテーション、養護教諭の職務 02. 学校保健活動の実際 03. 学習指導要領と教育課程及び学校保健の意義・内容 04. 学校保健安全計画の立案方法 05. 学校における健康観察（日常・緊急時の対応） 疾病・感染症の管理と予防（生徒・児童に多い疾患・感染症） 06. 健康診断の実施と事後処理 07. 学校環境衛生（教室内の温度・照度・机や椅子の高さなど） 学校における広報活動の実際（保健だより・掲示物） 08. 保健室経営の立案・演習と評価 09. 学校における保健組織活動（委員会活動） 10. 症状アセスメントと対応の実際・課題の提示 11. 健康相談と心のケア（虐待・いじめ・ストレス） 12. 保健教育：保健指導案の作成方法・課題の提示 13. 保健教育：模擬授業（1） 14. 保健教育：模擬授業（2） 15. 保健教育：模擬授業（3）	
その他の授業の工夫	学校保健に関して公表されている資料・新聞記事・雑誌・学術論文など適宜ハンドアウトを配布し、最新の情報を提供する。 演習・発表を多く組み込むことで、それぞれの学生が影響を及ぼすグループダイナミクスを期待している。	
時間外学修	事前学修：教科書を使用し予習を行う。シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書、参考書等を用いて予習を行う（6h） 事後学修：教科書と講義資料を用い復習を行う（6h） 課題学習：保健室経営の演習課題（5h）、症状アセスメントの課題（10h）、保健教育の課題（18h）	
評価方法と評価割合	筆記試験70%、演習課題30%	
テキスト	新養護概説（少年写真新聞社）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野治子：高等学校、特別支援学校の養護教諭 草野淳子：保健所保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	手嶋康深：小学校、中学校の養護教諭 大渡文子：指導主事、小学校、中学校の養護教諭

実務経験をいかした教育内容	2名の非常勤講師については、指導主事、小学校、中学校での養護教諭の経験が30年以上あるため、実務経験をいかした教育内容を教授することができる。非常勤講師の講義を含め、児童、生徒の学校保健に関する養護教諭の職務を学生に教授する。具体的には、学校教育・学校保健の関係法令、学校教育の基本事項等である。
---------------	--